

学術委員会

委員長：横田 和典

委員：大浦 紀彦、小川 令、加藤 久和、門松 香一、菊池 守、
楠原 廣久、久保 盾貴、櫻井 裕之、高木 誠司、武田 啓、
田中 嘉雄、西本 聡、橋川 和信、福本 恵三、松浦慎太郎、
松田 健、三川 信之、宮本 純平、八巻 隆、杠 俊介

開催年月日：①平成 27 年 4 月 9 日、②平成 27 年 10 月 9 日、メール委員会随時

主な議題：1. 平成 27 年度春季学術講習会の件

2. 平成 27 年度秋季学術講習会の件

3. 平成 27 年度学術奨励賞の件

活動の概要：1. 平成 27 年 4 月 8 日ウエスティン都ホテル京都において「専門医認定
審査受審者にむけて、保険診療、先天異常」、「医療安全」のテーマで
開催した。申込者 282 名、申込者 282 名、完全受講者 277 名、欠席 4
名、聴講 1 名であった。

2. 平成 27 年 10 月 7 日岩手県民会館において「形成外科の基本手技と
専門医試験受験者に向けて」のテーマで開催した。申込者 222 名、完
全受講者 217 名、欠席 5 名、聴講 4 名であった。

3. 平成 27 年度学術奨励賞は機関誌以外部門の公募に計 19 編(基礎部門
8 編、臨床部門 11 編)の応募があり、候補論文 4 編(基礎部門 2 編、
臨床部門 2 編)と機関誌部門候補論文 4 編(基礎部門 2 編、臨床部門 2
編)の合わせて 8 論文を理事会に上申し、以下の 4 編に決定した。

《学術奨励賞》

副島 一孝 氏 (日本大学 形成外科)

[Original Scientific Reports] Effects of mature adipocyte-derived
dedifferentiated fat (DFAT) cells on generation and vascularisation of
dermis-like tissue after artificial dermis grafting

JPSHS, Vol. 49, No. 1:25-31, 2015

神野 千鶴 氏 (京都大学 形成外科)

『Inactivation of Human Nevus Tissue Using High Hydrostatic Pressure for
Autologous Skin Reconstruction: A Novel Treatment for Giant Congenital
Melanocytic Nevi』

Tissue Engineering Part C Methods. 21 (11), 1178-87, 2015

林 礼人 氏 (順天堂大学 形成外科)

『われわれの行ってきた急性期顔面神経麻痺に対する舌下神経縦二分割移行
について』

日形会誌, 第 35 巻第 1 号, 1-11, 2015

関 征央 氏 (聖マリアンナ医科大学 形成外科)

『The Superior-Edge-of-the-Knee Incision Method in Lymphaticovenular
Anastomosis for Lower Extremity Lymphedema』

Plastic and Reconstructive Surgery. 136 (5) 665e-75e, 2015

学術奨励賞は昨年度まで JPSHS、日形会誌に掲載された論文が機関誌部門

候補対象にしていたが、平成 28 年度からは機関誌部門から JPSHS は除外し日形会誌掲載論文のみ選定対象とし、日形会誌以外に掲載されたすべての論文は公募となることが理事会で協議の結果決定された。

用語部会

部 会 長：横田 和典

委 員：市岡 滋、清水 祐紀、中岡 啓喜、永竿 智久、中西 雄二、
西本 聡

開催年月日：平成 27 年 10 月 8 日

活動の概要：日本医学会分科会用語委員会において、学術用語集医学編、標準病名集、ICD10 国際疾病分類、医学中央医学用語シソーラス等においてそれぞれの領域で使われている用語との間で統一を図るための意見交換がなされた。また ICD10 改定に向け当部会にも問い合わせがあり委員間に意見を求めたが目立った意見はなく、平成 27 年度は日本形成外科学会から改定への提言はしなかった。